

有島武郎生誕140周年・有島記念館開館40周年記念事業

永田砂知子

波紋音—hamon—



秋のニセコに
鉄の楽器・波紋音(はもん)の
奥深い音色が
響き渡ります

演奏

永田 砂知子

(パーカッション奏者・即興演奏家)

アートワーク

片桐 尉晶

(ランドスケープデザイナー)

2018年

9月22日(土) 開場12:30 開演13:00

有島記念館アートホール

料金:常設展観覧料のみで入場できます

[大人500円、高校生100円、中学生以下・65歳以上のニセコ町民は無料]

詳細については、有島記念館公式ホームページをご覧ください。電話(0136-44-3245)にてお問い合わせください。

主催 ニセコ町・有島記念館(北海道虻田郡ニセコ町字有島57)

この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています



プロフィール



永田 砂知子 NAGATA Sachiko

パーカッション奏者・即興演奏家

東京藝術大学打楽器科卒業。パーカッション奏者として、クラシック音楽の分野でキャリアを積むが、それと同時に内側から湧き上がる様々な思いがふくらんでゆき、1990年代に入って、ついにクラシックの世界から脱出。即興演奏でいきなり前衛の世界へ進む。それまで約束事で厳密に作られた世界から、まったく何もない地平に、その瞬間、瞬間、お互いが音楽を作り出さなければならない即興演奏という方法に、非常に魅了されていった。

1993年、田中泯の白州アートフェスティバル・デレク・ベアリー「カンパニー」、1994年にはジョン・ゾーン「コブラ」、1998年にはブッチ・モーリス「コンダクション」全米ツアー参加。それまで出会うことのなかった、自由でクリエイティブなミュージシャンたちと出会うことができたことは幸運だった。

それと並行して、音を出す素材と向き合うため、美術家を作る、竹、鉄など様々な作品を演奏するうちに、97年に斉藤鉄平の鉄の作品「波紋音(はもん)」と出会う。以後数年かけて「波紋音」だけで独自の世界を追及。国内外で演奏活動する。京都・法然院、高知・竹林寺、横浜三溪園・旧燈明寺 高千穂神社などの寺社から岡本太郎美術館、アルテピアッツァ美唄、札幌・モエレ沼公園ガラスのピラミッド、豊田市美術館、草月イサムノグチ「天国」などの近代建築まで活動の幅は広い。2009年にはパリ、2015年にはパリ・ブリュッセルで公演。北海道は、2007年の札幌以来、毎年演奏会を行っている。

2009年、パリでベルナール・バシェに出会ったことがきっかけで、音響彫刻で世界的なバシェ兄弟のことを日本で広める活動を始める。2015年よりバシェ協会・会長。

CD「波紋音」「le hamon」札幌の作曲家 chiharu mk とのコラボ作品「blue flow」リリース。「blue flow」がラジオフランス、イタリア国営放送でオンエアされる。

永田砂知子 HP <http://www.nagatasachiko.com>

バシェ協会 baschet.jp.net

Facebook 波紋音ページ Sachiko Nagata - hamon (波紋音)

アートワーク 片桐 尉晶 KATAGIRI Yasuaki

登録ランドスケープアーキテクト[RLA]、博士(文学)

小樽市生まれ。北海道大学で超音波工学、同大学院で造園学を専攻。主に北海道で多数の造園設計・まちづくり・博物館展示計画その他アートプロジェクトに携わる。大学、専門学校などで緑地学、CG デザインを教えた後、北海道では数少ない伝統工芸の工房(有)片桐仏壇店を後継する。文化と環境をデザインするアトリエピアノ・(有)片桐仏壇店代表。著書に『名付けえぬ風景ををめぐして』(北海道大学出版会)、『愛のカタチは詩のカタチ』(共著、ポエムピース)。

《北海道公演のご案内》

札幌公演

Okui Migaku Gallery Concert 「Water lily」
日時 9月24日(祝日) 昼公演 15:30 夜公演 18:30
会場 札幌・奥井理ギャラリー[TEL011-521-3540]
出演 永田砂知子(波紋音) 福田ハジメ(ピアノ)

北広島公演

永田砂知子・波紋音演奏会「森の中の波紋音」
日時 10月13日(土)14:00開演
会場 北広島・黒い森美術館[TEL011-373-8239(月～水のみ)]
出演 永田砂知子(波紋音)